

日本テスト学会 第 17 回大会 開催のご案内

「テストを作る，使う，生かす」

共催／名古屋大学大学院教育発達科学研究科

日本テスト学会第 17 回大会を，2019 年 8 月 28 日（水）・29 日（木）に，名古屋大学で開催させて頂くことになりました。

開催をお引き受けしてまず考えたことは，学会員以外の方にも多数来て頂けるような大会にしようということでした。（ちなみに，2 番目に考えたことは，懇親会をどこでやろうでした。大学近くの美味しいイタリアンのお店を予約しています。是非ご参加ください。）

学会員の皆さまは良くご存知の通り，日本におけるテスト研究の層や広がり，薄くて不十分と言わざるを得ない状況です。にもかかわらず，学校や社会のいたるところでテストは用いられ，個人の進路や処遇だけでなく，教育施策全体に影響を与えるような使われ方もされています。その方法や内容に問題がある場合も多く，テストに関する研究知見を発信する本学会の役割は，とても大きいものと言えます。しかし，なにせ研究者の数が少ないため，テスト研究というものの存在すら，一般にはほとんど知られていないのが現状です。また，テスト研究の存在や必要性がなかなか理解されない別の原因として，テストがあまりにも身近なものであるため，個人的な経験や意見だけで，テストについて語られてしまっているということもあるでしょう。

テストが多く用いられる場所の 1 つはやはり学校です。また最近では，資格試験や検定試験など，テストを扱う団体や企業も増えてきました。そこで本大会では，学校や団体，企業等でテストの作成，実施，利用に携わっている方とテスト研究者が意見交換を行う公開シンポジウムを 2 つ企画しました。テスト研究というものがあるということ，そして，実際にテストの実施に携わっている方がテスト研究に望むことを，テスト研究者だけでなく多くの人達に知ってもらい（テスト研究の必要性の認識が広まり，テスト研究者が増え，テスト学会が繁栄し，…），学校や社会におけるテストが良くなっていくことを狙いとしています。

公開シンポジウムの他にも，項目反応理論，言語テスト，e テスティング等に関するシンポジウムやセッションを企画しています。また，学会員の皆さまに発表して頂く時間も，多数設けています。

ところで，本学会の大会を本学で開催するのは 10 年ぶり 2 回目となります。古くからいる会員の皆さまは覚えていらっしゃるかもしれませんが，名古屋の夏は暑いですが，帽子，日傘などをご持参頂くようお願いいたします。

多くの皆さまのご参加を，心よりお待ちしております。

日本テスト学会第 17 回大会実行委員長
名古屋大学大学院教育発達科学研究科
石井 秀宗

大会ホームページ <http://plaza.umin.ac.jp/jart2019/>

開催日・会場

期日：2019年8月28日（水）・29日（木）（2日間）

会場：名古屋大学東山キャンパス 教育学部棟／経済学部カンファレンスホール
（〒464-8601 名古屋市千種区不老町）

内容

本大会では、公開シンポジウム2件、実行委員会企画シンポジウム1件を行う予定です。

公開シンポジウムのみ、参加費無料でご参加いただけます。

公開シンポジウム1

【テーマ】教室テスト、学力調査、入試…。学校の先生が知りたいテストのこと

【日時】2019年8月29日（木）9:30～11:30（受付開始9:00）

【主な対象】小・中・高等学校教諭、大学教員、研究者、試験実務担当者、教育関係者等

学校・教育場面において、テストは頻繁に利用されるものの、その作り方や使い方について教師が学ぶ機会はほとんどなく、多くの先生方が疑問を抱えながらテストを用いているのが現状である。また、学校の先生方とテスト研究者が意見を交換する場もほとんど無いため、テスト研究者が学校・教育場面におけるニーズを掴みきれていないという状況もある。そこで本シンポジウムでは、教室テストから学力調査、入試に至るまで、テストについて双方の立場から率直な議論を交わして、相互の理解を深めたいと考えている。

企画・司会／石井 秀宗（名古屋大学）

話題提供者／今澤 宏太（滋賀県公立中学校教諭）、坂本 雄士（元愛知県公立小中学校教諭・浜松学院大学）、荒井 清佳（大学入試センター）、服部 環（法政大学）（登壇順）

指定討論者／村上 隆（中京大学）

公開シンポジウム2

【テーマ】「多面的総合的評価・アクティブラーニング・CBT」

【日時】2019年8月29日（木）13:00～15:00（受付開始12:30）

【主な対象】小・中・高等学校教諭、大学教員、研究者、試験実務担当者、教育関係者等

テストが社会のために役立つためには、テストが測ろうとする特性をどのようにして伸ばしていくのかをあわせて提示することが重要ではないだろうか。英語テストだけをただ単に行うのではなく、テストで測ろうとする英語力を伸ばすためのカリキュラム整備や教授法（学習法）の提示などが、教育のためのテストにおいては必須となりつつある。本シンポジウムではコンピュータを用いたテストを授業等に取り入れ、より効果的な学びの場を提供する事例を紹介する。これらの活用事例を通じ、テストとコンピュータのあるべき関係についてディスカッションを行う。

企画・司会／光永 悠彦（名古屋大学）

話題提供者／寺尾 尚大（大学入試センター）、小松川 浩（千歳科学技術大学）、

住 政二郎（関西学院大学）、羽藤 由美（京都工芸繊維大学）（登壇順）

指定討論者／植野 真臣（電気通信大学）

大会実行委員会企画シンポジウム

【テーマ】「テストの実務家は項目反応理論をどう捉えているか」

【日時】2019年8月28日（水）13:00～15:00

【主な対象】大学教員，研究者，試験実務担当者，教育関係者等

項目反応理論（IRT）は，テストを標準化する手法として，日本においても広く用いられるようになってきた。しかし，問題文非公開や同時刻全受験者一斉受験といった「日本的テスト文化」は，いまだに根強い。IRTを用いると，項目バンクを用いた項目管理や年複数回実施といった付加価値をテストにつけることができる一方で，日本的テスト文化にそぐわない，テスト問題を非公開にするなどの処置をとる必要が生じる。本シンポジウムではテストの実務（テスト・アドミニストレーションやテスト・ディベロップメントなど）に精通した者にとってIRTがどのように見えているのかを通じて，IRTの研究者とテストの実務家がどのように関わりあっていくのかについて討議する。

司会・話題提供者／光永 悠彦（名古屋大学）

話題提供者／上松 慮生（プロメトリック株式会社），

舛田 博之（株式会社リクルートマネジメントソリューションズ），

仁田 善雄（医療系大学間共用試験実施評価機構）

指定討論者／柴山 直（東北大学）

その他のシンポジウム

日本テスト学会研究委員会企画シンポジウム他 2 件のセッションを企画しています。詳細は追ってホームページにて紹介します。

一般研究発表

【発表形式】

- 発表は口頭発表によります。発表時間は，原則として質疑応答を含む 20 分間の予定です。
- 発表資料として，抄録集以外に補足資料を利用される場合は，配布用資料を 50 部用意してください。
- 発表会場にはプロジェクタを用意します。その他の発表機器の使用を希望される場合は，抄録集原稿送付時に第 17 回大会事務局までご相談ください。

【発表要件】

- 一般研究発表において，第一発表者として発表できるのは一人 1 件までです。
- 「発表者のうち少なくとも 1 名は本学会会員」「発表論文抄録集への論文掲載」「口頭発表」の三つの条件を満たすことで，公式発表として認められます。

懇親会

大会 1 日目，8 月 28 日（水）18:50 より，懇親会を以下の場所で行います。

「グランピアット山手通店」（〒466-0815 名古屋市昭和区山手通 1-24）

名古屋大学教育学部棟から徒歩約 5 分です。

その他

企画の詳細は，準備が出来次第，大会ホームページにて紹介します。

大会参加申し込み及び一般研究発表申し込みについて

申し込み手続き

大会参加及び一般研究発表は、以下の締切日までに、ホームページからお申し込みください。

ホームページには「大会参加申し込み」と「一般研究発表申し込み」の二つの申込フォームがあります。
公開シンポジウムのみ参加の方は、大会ホームページからの大会参加申し込みは不要です。一般研究発表を申し込むためには、大会参加申し込みが必要です。

一般研究発表は、発表題目及び要旨について審査を行い、本大会の趣旨にそぐわないと判断された場合はその旨ご連絡いたします。(大会ホームページ：<http://plaza.umin.ac.jp/jart2019/>)

(注) ホームページから申し込むことができない方は、第17回大会事務局(jart2019@jartest.jp)宛にEメールで必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。Eメールにて大会参加及び一般研究発表を申し込まれた方は、1週間以内に確認のメールをお送りします。受付後1週間を過ぎても確認の連絡が届かない場合は、第17回大会事務局までお問い合わせください。

受付開始日及び締切日

	受付開始日	締切日
一般研究発表申し込み	2019年5月7日(火)	2019年6月17日(月)
発表論文抄録集の原稿送付	2019年5月7日(火)	2019年7月22日(月)
大会参加の事前申し込み・ 諸費用事前払い込み	2019年5月7日(火)	2019年8月19日(月)

諸費用の払い込み

公開シンポジウムのみご参加の場合は、参加費は不要です。

大会参加費及び懇親会参加費の事前払い込みは、大会参加の申し込みを済ませたうえで、2019年8月19日(月)までにお手続きください。ゆうちょ銀行、郵便局から送金される場合は本案内に同封した払込取扱票または郵便局備え付けの払込取扱票を、他の金融機関から送金される場合は金融機関備え付けの振込用紙を用いて、以下のゆうちょ銀行の口座にご送金ください。いずれの場合も送金手数料は振込人の負担となりますのでご了承ください。

【振込先】

ゆうちょ銀行・郵便局から

口座記号番号 00190-6-451728

口座名称 日本テスト学会

他の金融機関から

店名(店番) 〇一九(ゼロイチキュウ)店(019)

種目・口座番号 当座・0451728

口座名義 日本テスト学会

	大会参加費				懇親会 参加費
	正会員	法人会員	準会員・ 学生	非会員 (学生除く)	
事前払い込み(8/19まで)	5,000円	5,000円	3,000円	6,000円	5,000円
当日支払い(会場にて)	6,000円	6,000円	4,000円	7,000円	6,000円

【振込にあたってのお願いと注意】

- 振込の前に、必ずホームページ上から参加申し込みを行ってください。
- 必ず参加登録者名で払い込んでください。
- 郵便局備え付けの払込取扱票をお使いの場合は、通信欄に払込金額の内訳（大会参加費、懇親会参加費）を明記してください。
- 利用明細は領収書として必ず保管してください。
- 参加の事前申し込みをされても、事前払い込み締切日（8月19日）までに手続きをされなかった場合は当日支払いの適用となりますのでご注意ください。

会場アクセス、宿泊等

会場へのアクセスについては、以下のページもご参照ください。

<http://www.nagoya-u.ac.jp/access/>

【主要駅から大会会場へのアクセス】

大会会場は名古屋大学東山キャンパスで、最寄駅は地下鉄名城線「名古屋大学」駅です。

<JR名古屋駅から>（約30分）

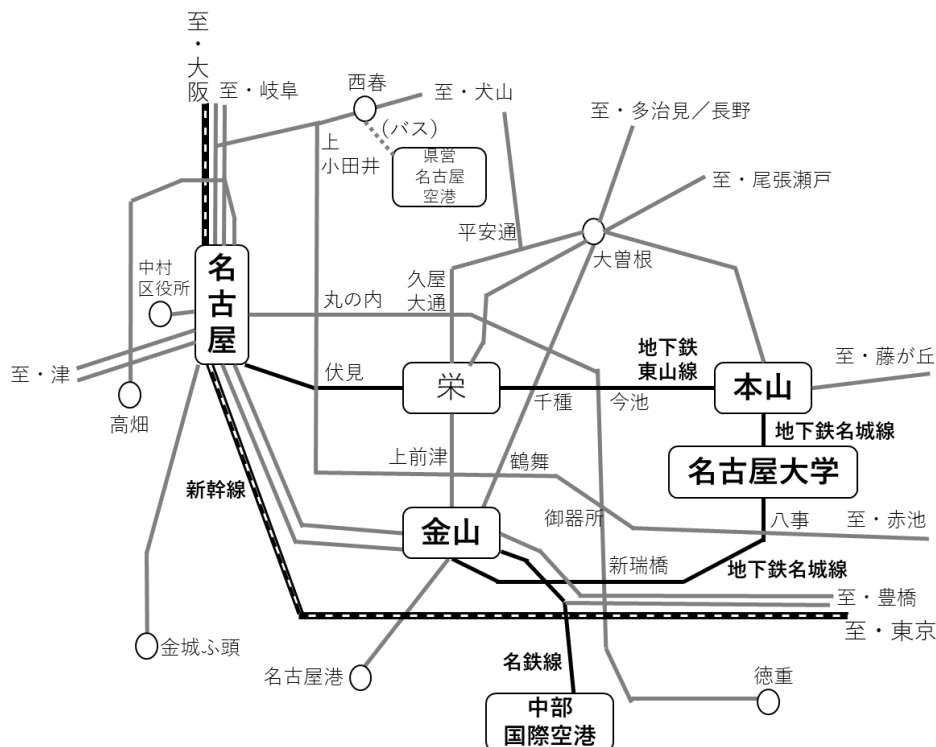
JR名古屋駅→地下鉄東山線「名古屋」駅（藤が丘行きに乗車）→「本山」駅（のりかえ）地下鉄名城線「本山」駅（4番線：右回りに乗車）→「名古屋大学」駅

<中部国際空港から>（ミュースカイ利用の場合：約60分）

中部国際空港→名鉄線「中部国際空港」駅→「金山」駅（のりかえ）地下鉄名城線「金山」駅（1番線：左回りに乗車）→「名古屋大学」駅

地下鉄名城線「名古屋大学」駅（1番出口）から

経済学部カンファレンスホールまで：徒歩3分、教育学部棟まで：徒歩5分



【宿泊について】

大会実行委員会では、宿泊等の斡旋は行いません。宿泊される方は各自でご用意ください。なお、「名古屋大学」駅周辺に宿泊施設はありませんが、地下鉄東山線・名城線「栄」駅周辺に多くのホテルがあります。

【クロークについて】

大会1日目・2日目ともに、大会受付付近にてクロークを設置します。

【駐車場について】

大会会場（名古屋大学東山キャンパス）内には、駐車場がございません。

公共交通機関のご利用をお願いします。

【その他】

大会会期中、無線LAN等のインターネット接続サービスの提供はいたしません。

抄録原稿の送付

- 抄録原稿の作成にあたっては、同封の「抄録作成要領」またはホームページを必ずご参照ください。
- 抄録原稿の送付は、ホームページのフォームから行ってください。ホームページのフォームから送信できない場合は、事務局までEメールまたは郵便でお送りください。
- 原稿送付期限（2019年7月22日（月））を厳守してください。

大会プログラム・発表抄録集

- 大会プログラムは、7月下旬に大会ホームページにてお知らせする予定です。
- 発表論文抄録集は、大会参加者には当日会場受付にてお渡しいたします。

連絡先

日本テスト学会第17回大会事務局

【住所】〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院教育発達科学研究科

【E-mail】jart2019@jartest.jp